

3年生が授業のはじめと終わりのあいさつをがんばる取り組みを始めて2週間が過ぎた。さて、今週の水曜日に教職員が2年生の授業を参観に行くという機会があった▼3年生の担任が、そのことを3年生に伝え、「ぼくたちのことは、いつ見に来てくれるの?」「見に来てほしいな」という声が出た。もっと聞いていくと、授業のはじめと終わりのあいさつを見に来てほしい。ということが分かった▼今日の2時間目の始まりにさっそくあいさつの様子を見に行かせてもらった。言うだけのことはある。確かにお辞儀は素晴らしい。まだまだ上手になる要素があったので、98点とした。－2点が、次への意欲につながるとよい▼全校では、大縄大会に向けて、取組が進んでいる。練習は、週1回の20分休み。その取り組みを下支えするかのよう、学年で大縄に取り組む▼これまた3年生が、4年生と一緒に練習したい!連続とびができるようになりたい!と言い出したそうだ。そんな子どもの意欲を担任は上手に汲み取る▼今度は6年生が、週1回の練習では足りないと言い出した。みんなに呼びかけてお昼休みに練習する班が出てきた▼子どもの意欲に火を付けた何かきっかけがあるに違いない。教師のしかけが見え隠れする。最近ある人に教えてもらった。

「大事なものは、Be!」それをうまく引き出すのが教師の仕事。取り組みがうまく回っている。